

第85期 株主報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで



西部電機株式会社

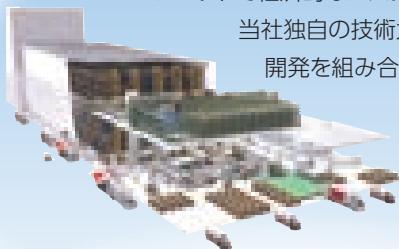
証券コード 6144

西部電機は技術と品質で、 そして独自の創造力で広く世界に貢献いたします。

当社は「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に、
物流マテハンシステム、産業機械、放電加工機、工作機械等、多彩な技術で
明日を拓くメカトロニクスメーカーです。

搬送機械事業

コンパクトで経済的なシステムを構築できる
当社独自の技術力と、ソフトウェア
開発を組み合わせた「総合物流
ソリューション」を
提案しています。



Seibu

産業機械事業

水・電気・ガス・石油などエネルギーを暮らしに導くため大切な役割を担うバルブアクチュエータとゲート駆動装置を提供しています。



精密機械事業

ピッチ加工精度で定評のワイヤ放電加工機、
小物精密部品加工に応えるNC旋盤、自由形状
加工を可能とした切削加工機などを開発して
います。



新たな中期経営計画「チャレンジ240」を策定し、 市場競争を勝ち抜くべく全社を挙げて努力してまいります。



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第85期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成30年6月

取締役社長 寺田敬一郎

Q 当期の業績についてお教えてください。

A 受注高、経常利益が過去最高となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境などに改善がみられ、緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら、米国の政策動向や欧州の政治情勢の不安定さ、中国やアジア新興国経済の減速懸念など、下振れリスクを抱え、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

この様な情勢の中で、2015年度から2017年度までの中期経営計画「チャレンジ200」を策定し、当社グループはどのような環境下でありましても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、受注高は中国市場の開拓による輸出の増加や大口物件の成約もあり、過去最高の297億

7千3百万円(前期比60.1%増)となりました。売上高は輸出が大幅に伸びましたものの前期のような大口物件の納入がなかったこともあり、229億1千4百万円(前期比4.6%減)となりました。損益においては、設計や製造現場の見直しと効率化等によるコスト削減を行った結果、経常利益が過去最高の22億2百万円(前期比38.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は15億8百万円(前期比269.3%増)となりました。

Q 次期の見通しについてはいかがですか。

A 新たな中期経営計画「チャレンジ240」を策定いたしました。
今後とも変化に対応し、市場競争を勝ち抜いてまいります。

次期のわが国経済は、米国の政策動向や欧州、中東の政情不安、また、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速などの懸念材料もあり、先行き不安定な状況で推移するものと思われま。

当社グループといたしましては、新たな中期経営計画「チャレンジ240」を策定いたしました。どのような環境下でありましても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜く所存であります。

更にはコストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

Q 株主還元についてお教えてください。

A 当期の期末配当は1株当たり23円とし、また株主優待制度を導入しました。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当期の期末配当金につきましては、1株当たり7円を予定しておりましたが、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、より一層の株主還元を図るため、1株につき16円増配し、23円とさせていただきます。なお、中間配当金7円を含めました当期の配当金は、1株につき30円となりました。また、当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を導入いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

搬送機械事業

中国向け「MC-DIOシステム」の受注・納入拡大



搬送機械事業では、日本国内の工作機械メーカーとパートナーを組み、中国製造業へのFAシステムの拡販に取り組んでおります。中国では人件費の高騰、労働力確保の対策として、大手企業を中心に自動化・無人化が猛スピードで加速しています。中国政府の優遇措置や補助金制度の後押しもあり、マシニングセンタの長時間無人運転を可能とした「MC-DIOシステム」の商談が増加し、日本国内での実績、信頼性の高さにより受注を拡大することができました。また、射出成形機の生産・販売台数世界No. 1の企業様へ納入し、高い評価をいただき、各工場・関連会社へ展開したリピート受注もいただいています。

今後も、この納入実績を活かし、さらなる中国市場での拡販を展開してまいります。

搬送機械事業

「多品種混載パレタイズロボットシステム」の開発

搬送機械事業では、大小様々なケースをパレットやカゴ車へ効率良く積み付ける作業を完全自動化した「多品種混載パレタイズロボットシステム」を開発しました。

このシステムは、3Dビジョンでコンベヤ上のケースとパレット上の積付状態をそれぞれ自動認識し、知能ロボットがティーチングレスで最適軌道を自動計算しながらパレット上に積み付けていくシステムです。

従来のマテハン機器と、ロボットやIoT、AI等の最先端技術をインテグレートしたシステムを提案することで、物流の自動化を実現してまいります。



産業機械事業

展示会出展



高松水道展 2017年10月26日～27日 会場:サンポート高松シンボルタワー

『耐震化・更新を実施し、続けよう水道の信頼を!!』をテーマに、高松水道展が開催されました。

今年は127の企業が出展し、震災などの危機管理対策、水源汚濁等の水質対策を考慮した製品やシステム、地球環境に配慮し省資源・省エネルギーを志向した製品等が展示されました。当社は、採用実績を伸ばしているインテリジェントアクチュエータ「Semflex[®]-VM、VP」、世界最小の「Semflex[®]-AJ」、クラウド対応形「LTKD-01」の合計4機種を展示し、特にSemflex[®]シリーズに採用しているProfibusシステムの操作性、省配線化は大変好評をいただきました。

現在の上下水道市場は、メカ式のアクチュエータが殆どですが、アクチュエータのインテリジェント化・システム化も、いよいよ本格的に採用機運が高まっています。今後も、製販一体となって拡販に繋げてまいります。

プラントショー 2017年11月20日～22日 会場:東京ビッグサイト

プラントショーは、今回31回目を迎える日本唯一の産業用プラントの製品やサービスに関する専門展示会です。世界各国から約400社が出展し、各社が先端技術を発表する場として、2年に1度開催されています。当社はSemflex[®]シリーズのAタイプ、VMタイプ、VPタイプに加え、お客様のニーズ調査を目的としたVMMタイプを参考出展し、計4機種のPRを行いました。

当社ブースには、化学関係の企業、エンジニアリングメーカー、機器メーカー、バルブメーカー、機械商社など様々な業界のお客様が来場され、アクチュエータのみならず通信システムにも非常に興味を持っていただくことができました。

展示会後のフォローとして、接客時のお客様の反応とアンケート結果を基に、積極的に営業展開を図ってまいります。



産業機械事業 大型チェーン式ゲート開閉装置の開発

産業機械事業では、大型チェーン式ゲート開閉装置(160トン、90トン、70トン)を開発し、それぞれ東北・関東地域に向けて納入致しました。中でも160トンのチェーン式ゲート開閉装置は国内初となります。80トンを超えるものについては、動滑車式を採用し、予備動力としてディーゼルエンジンで駆動する特殊仕様にも対応致しました。納入に際しては、社屋内設備において実負荷での開閉操作及び自重降下試験等を行い、チェーンの特殊な収納駆動についても確認を行いました。

今後も大型チェーン式ゲート開閉装置の受注が見込まれており(一部受注済)、次の受注へ向けて事業部一体で取り組んでまいります。



精密機械事業 更なる超精密加工機への挑戦



「MEX15」

精密機械事業では、高精度加工の要求に応えるべく油仕様超精密ワイヤ放電加工機「MEX15」を開発し、1号機を国内ユーザに納入しました。「MEX15」の加工精度は業界トップクラスで、形状精度、ピッチ加工精度ともに $\pm 0.5\mu\text{m}$ を実現します。また、新たなラインアップで水仕様の「MEX15」を開発し、今後需要が見込まれる医療分野における微細加工をターゲットに拡販を図っていきます。

油仕様超精密ワイヤ放電加工機「M25LP」も性能をアップし、電気自動車(EV)で使用される高効率モータコア金型製作に威力を発揮する $\phi 220$ の真円加工精度 $0.79\mu\text{m}$ を実現しました。

今後、ますます需要が見込まれる高精加工分野から注目されています。



「M25LP」

精密機械事業 6インチチャック仕様の「SFG-35」の開発

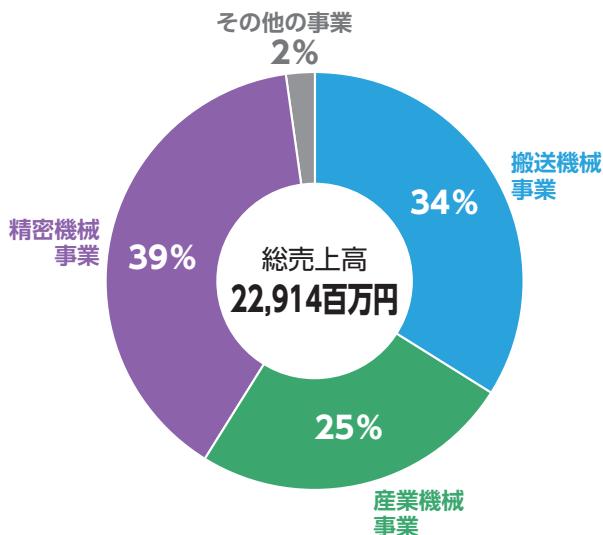
精密機械事業では、これまでの超精密自由形状研削加工機「SFG-28」のサイズアップ機種として、6インチ仕様の「SFG-35」を新たに開発しました。自動車部品の冷間鍛造金型やプレス金型等は、超硬の金型部分がダイス鋼の中央に埋め込まれた形で加工する必要があるため、最大チャック径 $\phi 150\text{mm}$ ×長さ 150mm 最大加工長さ 100mm が可能な仕様としました。加工精度は「SFG-28」同等の精度で、L/D(砥石付き出し長さ/砥石シャック径)=10での加工が可能です。型彫り放電加工+磨き工法に代わる高精度な加工方法として、注目されています。



「SFG-35」

主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **7,816**百万円

(前期比 38.8%減)

搬送機械事業では、既存顧客からの大型システムのリピート受注、自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

その結果、受注高は大口物件の成約もあり、131億8千2百万円(前期比79.8%増)、売上高は前期のような大口物件の納入がなかったこともあり、78億1千6百万円(前期比38.8%減)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン

立体自動倉庫(小型標準システム)



ケース自動ピッキングシステム(高速フェースピッカー)



ロボティクスマテハンシステム(図説パライスロボ)



産業機械事業

売上高 **5,625**百万円

(前期比 5.0%増)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。

その結果、受注高は56億7千万円(前期比1.7%増)、売上高は56億2千5百万円(前期比5.0%増)となりました。

主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型60t)



精密機械事業

売上高 **8,871**百万円

(前期比 62.4%増)

精密機械事業では、新規顧客や海外市場の開拓に注力してまいりました。

その結果、スマートフォン需要と市場の高精度機要求に支えられ、放電機械の輸出が増加し、受注高は102億9千万円(前期比9.4%増)、売上高は88億7千1百万円(前期比62.4%増)となりました。

主要商品

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精密小形NC旋盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精密2スピンドル櫛刃型NC旋盤(SNC-20PT)



連結財務諸表(要約) ・ *Financial Statements*

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

連結貸借対照表

科 目	第85期	第84期	科 目	第85期	第84期
	平成30年3月31日	平成29年3月31日		平成30年3月31日	平成29年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	23,603	17,337	流動負債	12,997	8,052
現金及び預金	11,334	7,549	支払手形及び買掛金	2,249	1,762
受取手形及び売掛金	8,899	7,466	電子記録債務	5,880	3,420
仕掛品	960	759	短期借入金	620	620
原材料及び貯蔵品	1,715	1,258	未払費用	1,458	1,130
繰延税金資産	323	241	前受金	1,970	232
その他	374	65	未払法人税等	635	414
貸倒引当金	△3	△2	役員賞与引当金	62	18
固定資産	15,387	13,942	受注損失引当金	3	—
有形固定資産	9,445	9,590	その他	116	453
建物及び構築物	3,525	3,732	固定負債	4,478	4,156
機械装置及び運搬具	694	661	長期借入金	336	336
土地	5,006	5,006	長期未払金	101	101
その他	217	182	繰延税金負債	420	51
建設仮勘定	0	6	再評価に係る繰延税金負債	1,477	1,477
無形固定資産	9	10	役員退職慰労引当金	20	19
投資その他の資産	5,932	4,341	製品保証引当金	947	1,019
投資有価証券	4,959	3,276	退職給付に係る負債	1,080	1,053
長期貸付金	29	29	その他	94	98
退職給付に係る資産	654	508	負債合計	17,476	12,208
繰延税金資産	23	167	純資産の部		
投資不動産	0	11	株主資本	15,361	14,065
その他	300	383	資本金	2,658	2,658
貸倒引当金	△35	△35	資本剰余金	2,616	2,616
			利益剰余金	10,091	8,795
			自己株式	△4	△4
			その他の包括利益累計額	6,153	5,006
			- 他有価証券評価差額金	2,696	1,526
			- 土地再評価差額金	3,363	3,363
			- 退職給付に係る調整累計額	92	116
資産合計	38,990	31,280	純資産合計	21,514	19,072
			負債純資産合計	38,990	31,280

■ 連結損益計算書

科 目	第85期	第84期
	平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで
売上高	22,914	24,019
売上原価	16,507	18,804
売上総利益	6,407	5,215
販売費及び一般管理費	4,266	3,688
営業利益	2,141	1,527
営業外収益	92	84
営業外費用	30	16
経常利益	2,202	1,595
特別利益	0	10
特別損失	33	1,021
税金等調整前当期純利益	2,169	584
法人税、住民税及び事業税	725	428
法人税等調整額	△64	△252
当期純利益	1,508	408
親会社株主に帰属する当期純利益	1,508	408

■ 連結包括利益計算書

科 目	第85期	第84期
	平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで
当期純利益	1,508	408
その他の包括利益	1,146	664
包括利益	2,654	1,073

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第85期	第84期
	平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,121	592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99	△681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△255
現金及び現金同等物の増減額	3,784	△344
現金及び現金同等物の期首残高	7,409	7,753
現金及び現金同等物の期末残高	11,194	7,409

■ 連結株主資本等変動計算書

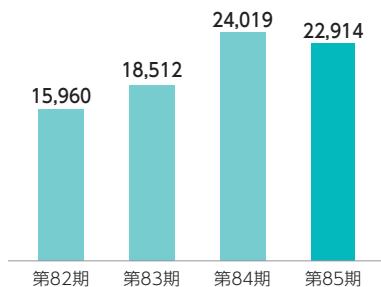
第85期 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	8,795	△4	14,065	5,006	19,072
当期変動額							
剰余金の配当			△212		△212		△212
親会社株主に帰属する当期純利益			1,508		1,508		1,508
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,146	1,146
当期変動額合計			1,296	△0	1,295	1,146	2,442
当期末残高	2,658	2,616	10,091	△4	15,361	6,153	21,514

連結業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

科 目	第82期 平成26年度	第83期 平成27年度	第84期 平成28年度	第85期 平成29年度(当連結会計年度)
売上高 (百万円)	15,960	18,512	24,019	22,914
経常利益 (百万円)	1,129	1,338	1,595	2,202
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	622	817	408	1,508
1株当たり当期純利益	41円08銭	53円99銭	26円96銭	99円56銭
総資産 (百万円)	27,582	31,397	31,280	38,990
純資産 (百万円)	18,046	18,226	19,072	21,514
1株当たり純資産額	1,191円19銭	1,203円05銭	1,258円89銭	1,420円12銭
自己資本比率 (%)	65.4	58.1	61.0	55.2

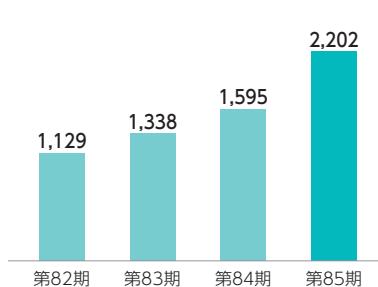
売上高

単位：百万円



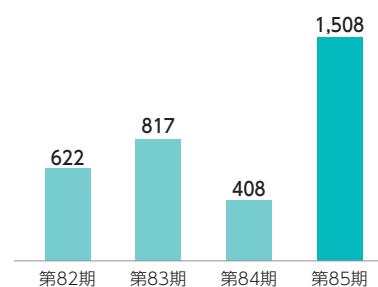
経常利益

単位：百万円



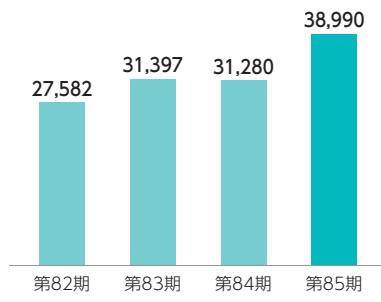
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



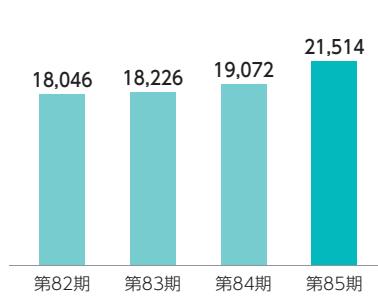
総資産

単位：百万円



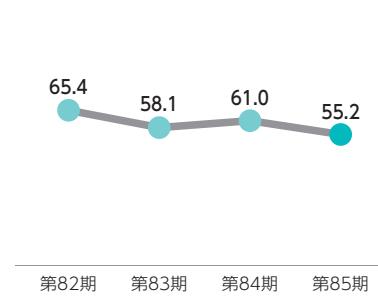
純資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



平成30年3月31日現在

会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	433名(連結484名)

役員

平成30年6月28日現在

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	小西 正純
社外監査役	大塚 丈徳

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,600名

大株主

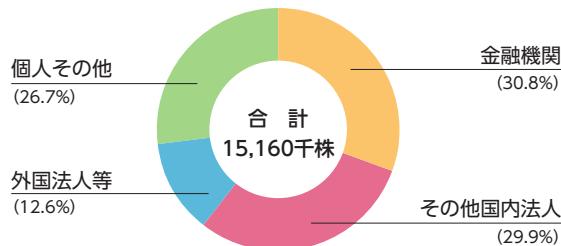
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,620	10.6
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,280	8.4
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
MSIP CLIENT SECURITIES	541	3.5
西部電機従業員持株会	409	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,182株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から平成29年8月24日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、平成29年8月17日現在同社が3,303,900株(保有割合21.79%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日をもって株式会社三菱UFJ銀行に行名変更をしております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用し印刷しています。